

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2025-09-01

No. 178



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 他の解釈シート.....	3
IEC: 新規格リスト.....	5
ISO: 新規格リスト.....	9
国際テーマ: 医療分野における電気・電子技術の役割の拡大.....	10
国際テーマ: シンガポールの消費者保護規制に関する最新情報.....	11
国際テーマ: Nemko Taiwan 関連ニュース 3 件.....	12
国際テーマ: カタールの IoT と M2M サービスに関するポジションペーパー.....	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	13
USA: FCC: KDB: FCC Part 15, 18 対象機器の認可の為のライン伝導エミッション要求事項.....	14
USA: FCC: KDB: 特定の KDB 文書により機器適合性審査の申込みが求められる場合の手續.....	15
USA: CPSC: CPSC、時代に合わず安全性向上に資さない規則を廃止.....	16
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	17
USA: FDA: FDA、2026 年度医療機器申請手数料を発表.....	17
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	18
USA: IEEE: 新規格リスト.....	19
カナダ: ISED: 無線標準仕様 RSS-102 の関連文書が 2 件発行.....	20
EU: 機械指令の整合規格情報.....	24
EU: 無線機器指令の整合規格情報.....	25
UK: 英国低電圧規則の指定規格の変更案が発行.....	26
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	28
EU: ETSI: 新規格リスト.....	30
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト.....	30
中国: CNCA: 《モバイル電源、Li-ion 電池などの認証実施規則（試行）》に関する公告.....	31
中国: CQC: 家庭用及び類似用途の電気器具の性能認証規則改正に関する通知.....	33
中国: CQC: モバイル電源、Li-ion 電池・電池パックの強制製品認証 実施規則/細則改訂通知.....	32
中国: 新規格リスト.....	34
台湾: BSMI: 二次リチウム蓄電セル/電池パック/電池システム製品の検査規定の制定予告.....	38
台湾: 新規格リスト.....	38
韓国: RRA: 放送通信分野の国家標準の制改正及び廃止に関する予告.....	39
韓国: KATS: 「電気用品及び生活用品安全管理法運用要領」改正(案)行政予告.....	40
韓国: KS 新規格リスト.....	41
総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会 CISPR F 作業班（第 29 回）配付資料.....	42
総務省: 情報通信審議会 情報通信技術分科会 CISPR H 作業班（第 19 回）配付資料.....	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正.....	44
経済産業省: 製造・輸入事業者ガイド Ver 6.0.0 が発行.....	44
ちよつといっぷく~小クイズコーナー 2026 年度の FDA510(k)の申請費.....	17
コスモス・コーポレーションからのご案内: IP 試験のご案内.....	23
社長の独り言.....	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 他の解釈シート

IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 と IEC 61000-3-3:2013/AMD2:2021 の解釈シートがそれぞれ発行された。両規格とも、定格入力電流の値が 16A を超えるかどうかによって適用する規格が変わるが、その判断においては、「製品に連続して流れる最大の入力電流」が 16A を超えるか超えないかを考慮することが明確にされた。

USA: FCC: KDB: 特定の KDB 文書によって機器適合性審査 (ECR) の申込みが求められる場合の手続き

特定の KDB 文書によって機器適合性審査 (ECR) の申込みが求められる場合の手続きに関して、附属文書 951290 D01 Equipment Compliance Review v01r01 に詳しいガイダンスが記されている。この文書では、ECR の申込みに関する重要な点がまとめられている。2025 年 8 月 7 日付けの変更点は、附属文書が“951290 D01 Equipment Compliance Review v01r01”に差し替えられ、KDB Inquiry の第 2 カテゴリの選択肢が一部変更された、など。

EU: 機械指令の整合規格情報

2025 年 8 月 14 日付け EU 官報にて、機械指令 2006/42/EC の整合規格に関する委員会実施決定(EU) 2025/1740 が公布された。リフト、消火・レスキュー車、コーティング材塗布用機器、クレーン、航空機地上サポート用機器、液体コーティング剤用供給・循環用機器、電動式ドア・ゲート、庭園用機器、食品加工機器、溶接機器の整合規格に関するもの。

EU: 無線機器指令の整合規格情報

2025 年 8 月 14 日付け EU 官報にて、無線機器指令 2014/53/EU の整合規格に関する委員会実施決定 (EU) 2025/1740 が公布された。ワイヤレスデジタルビデオリンク、衛星地上局及びシステム、基地局、ショートレンジデバイスの整合規格に関するもの。

経済産業省: 製造・輸入事業者ガイド Ver 6.0.0 が発行

製造・輸入事業者向け「電気用品安全法 法令業務実施手引書」の Ver 6.0.0 が令和 7 年 8 月 28 日付けで公開された。消費生活用製品安全法等の一部を改正する法律（令和 6 年法律第 67 号）の制定を踏まえ、新たに加わった制度が反映されている。

IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 他の 解釈シート



Summary

IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 と IEC 61000-3-3:2013/AMD2:2021 の解釈シートがそれぞれ発行された。両規格とも、定格入力電流の値が 16A を超えるかどうかによって適用する規格が変わるが、その判断においては、「製品に連続して流れる最大の入力電流」が 16A を超えるか超えないかを考慮することが明確にされた。

① IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 の解釈シート ISH1:2025

IEC 61000-3-2:2018/AMD2:2024 の解釈シート ISH1:2025 が 2025 年 4 月 3 日付けで発行された。

解釈シート 1 - 追補 2 - 電磁両立性 (EMC) - 第 3-2 部: 限度値 - 高調波電流エミッションの限度値 (相あたりの機器入力電流が 16 アンペア以下)

Interpretation Sheet 1 - Amendment 2 - Electromagnetic compatibility (EMC) - Part 3-2: Limits - Limits for harmonic current emissions (equipment input current ≤ 16 A per phase) (<https://webstore.iec.ch/en/publication/102901>)

規格 IEC 61000-3-2 と IEC 61000-3-12 の適用可能性に関する、用語“定格入力電流”の解釈

序文

規格の不適切な使用事例が SC77A/WG1 にて報告された。それは、IEC 61000-3-2 及び IEC 61000-3-12 のそれぞれの適用範囲に記載されている“定格電流”という語句の誤解から生じたものであった。

規格 IEC 61000-3-12 は、入力電流が 16A を超える状態で連続運転が可能な製品に対して、適用されると見なされる。たとえその電流にどのような用語が使われていようとも、である。今回のケースの“xxx の定格電流”という語句は、ISO 5151 に従って製品 (ヒートポンプシステム) を試験・測定した際の入力電流を指して使用されている。たとえば、ISO 5151 の冷房試験で測定された電流が“冷房時定格電流: 13.89A”と銘板 (下記参照) に表示されている。ISO 5151 に基づく別の値として“暖房時定格電流: 10.34A”も同様に表示されている。また、その製品が連続運転可能な最大入力電流として“最大入力電流: 19A”が同じ銘板に記載されている。

冷房時 暖房時 |

防触电保护类别	I 类	制冷时	制热时
电源 (三相交流)	380V 3N~ 50Hz	额定能力	25000 27300 W
制冷剂	R410A 7.3 kg	室外机组额定输入功率	8690 6400 W
净质量	140 kg	室外机组额定电流	13.89 10.34 A
最高工作压力 (高压 / 排气侧)	4.15 MPa	室外机组噪声	58 61 dB(A)
(低压 / 吸气侧)	2.30 MPa	室外机组总最大电流	19.00 A
热交换器最大工作压力	4.15 MPa	室外机组总最大输入功率	11880 W
保护等级	IPX4	APF	4.81

定格性能

定格入力電力

定格入力電流

最大入力電流

IEC



株式会社コスモス・コーポレーション
試験設備のご案内 (IP 試験装置)

◆ 接近度検査試験、防塵・耐塵試験

①IP1X～IP6Xまでの各種ブロー侵入検査試験が実施可能です。

②大型粉塵試験機にて、タルク粉によるダスト試験 (IP5X、IP6X) が実施可能です。

③小型粉塵試験機にて、アリゾナダストによるダスト試験 (IP5KX、IP6KX) が実施可能です。

小型粉塵試験機はその他ご要望のダストに入れ替え可能です。例：関東ローム 7, 8, 11 種など



大型粉塵試験機
槽サイズ: W1500 × H1500 × D1500 (mm)
扉開口: W1400 × H1400 × D1500 (mm)



小型粉塵試験機
槽サイズ: W1000 × H1000 × D1000 (mm)
扉開口: W800 × H800 × D1000 (mm)

評価例: 直径 50mm を超える異物が侵入することは意図していないが、直径 50mm 以下の異物であれば侵入を許容しているような機構設計の製品 ⇒ この場合の等級は IP1X です。

ユーザやオペレータの指が危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入は許容しているが、直径 12.5mm の異物は侵入しないような機構設計の製品 ⇒ この場合の等級は IP2X です。

直径 1mm の細い工具等を使用したユーザやオペレータによる危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入は許容しているが特定箇所への堆積は意図していない機構設計の製品
⇒ この場合の等級は IP5X または IP5KX です。

直径 1mm の細い工具等を使用したユーザやオペレータによる危険な箇所への接近は意図しておらず、埃の侵入も許容していない製品 ⇒ この場合の等級は IP6X または IP6KX です。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1
URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com
【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通)、FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

文書管理番号:004SP
発行:2013-07-18
改定:2022-10-17

社長の独り言

2025 年 9 月 1 日

濱口 慶一

もう秋の気配を感じる季節となりましたが、日中はまだ暑さが続いております。皆さまいかがお過ごしでしょうか。全国的に新型コロナウイルスの流行が再び懸念されておりますので、日々の感染対策には十分ご留意いただき、どうぞ健やかに過ごしてください。

私ども製品安全評価・認証機関は、皆さまの安全・安心を守るため、日々の業務に取り組んでおります。製品の評価において大切にしなければならないと考えていることがあります。それは、「規格の要求事項を正しく理解し、解釈する」ことです。その要求事項の意図を正しく理解するには、その規格の制定に至った歴史的経緯や背景に立ち返ることが欠かせないと考えます。たとえば、電気用品安全法施行令 別表第八の 1 共通の事項の (2) 構造のヲに、電源電線の引張試験と押し戻し試験について規定されています。引張試験では電源電線に対して加える張力の具体的な数値が規定されていますが、押し戻し試験については押し込む際に加える力の数値が規定されていません。海外の規格では規定しているものもあり、別表第八ではなぜ規定されなかったのか、制定当時の背景を知りたいところです。万が一これに起因する事故が生じた場合に PL 法上問題にならないかと懸念しています。私は電気用品事故調査委員として活動していますが、監督省庁の関係者の方が参加する会議などで主張していきたいと思っております。

加えて、本年 6 月 16 日に経済産業省が公表した「新たな基準認証政策の展開 ― 日本型標準加速化モデル 2025 ―」にも注目いただきたいと思います。これは、工業界の要望を踏まえ、海外認証機関への過度な依存を減らし、日本の技術的優位性の確保と産業競争力の強化を目的としており、日本の標準化政策の重要な転換点になると考えております。私が在籍していた長岡技術科学大学の社会人向けシステム安全工学専攻修士課程では、経済安全保障の観点からの研究に触れる機会もありました。台湾有事のリスクを想定した模擬演習などを通じて、大企業も多方面のリスクに強い関心を寄せていることを知りました。その経験からも、今回の経済産業省の方針には大きな意味があると感じています。

余談ですが、今年 3 月に弊社社員が長岡技術科学大学の同専攻を無事修了しました。同大学は、これまで修了者数を「履修修了生」を含めて公表していましたが、現在は修士論文を提出し正式に修了した者のみを対象とする形に修正されました。修了者の定義が変更されていますので、必要に応じてご確認ください。

先日 Suica カードのセキュリティ脆弱性が報道されました。発行元は問題ないとしていますが、認証機関による評価に見落としがあったのではないかとという疑念も残ります。今後の関係者の発表に注目してまいります。

最近、調べごとをする際に、AI ツール「Gemini」を活用しており、ほぼ正確な回答を得られるようになってきました。大変有用なツールで、すでに活用しているお客様も多いかと思います。ただ、このようなツールが出力する結果が 100%正しいとは限りません。Gemini で調べた結果が本当に正しいか、確証を得たいというお客様がいらっしゃいましたら弊社までお問い合わせください。

さて、私の養蜂中の日本蜜蜂は、毎年恒例の大雀蜂の襲撃を受けています。蜜蜂たちは巣箱にこもり防御に徹していますが、このような状況が続くと蜜の備蓄が減るため、越冬時の食料が不足する懸念があります。少しでも蜜を集めなおしてほしいと願っております。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ(EMC, Safety and Energy Conservation)**分野に係わる、世界の主要機関・地域において実施され、かつ電気電子製品に適合が求められている規格/法規制に関連する情報をお届けします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えていただけることが本誌の目標です。情報源を明示しますので、読者の皆様の関心の大きさに応じてさらに深掘りしていただくことができます。

本誌の内容は、各国の規制・規格の対象製品の試験、認証、開発、管理に携わる方々にとり必読です。

- 対象機関・地域: IEC 等国際機関、ならびに、FCC、UL を含む米国、EU、CENELEC、CEN を含む欧州、その他オセアニア及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: 上記の対象機関・地域のウェブサイトもしくは情報サービス。また、ご協力の同意をいただいた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの、当該分野の識者の方から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで ishii-keisuke@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、46 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記ウェブサイトの運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可をいただいております。翻訳転載された記事の著作権は原著作者者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the website information from the above listed organizations with each organization's conditions. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2025-09-01 (No. 178)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集担当: 山中慎一

© 2025 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。